

作業療法で作製した作品 見本

文体：MS明朝体 文字大きさ 10.5 ポイント
余白：上 35.01mm 下 30mm 右 30mm 左 30mm

応募区分：

自助具 治療訓練機器 作業療法で作製した作品

応募者属性：

氏名 OTR OTS
所属

作品に関連する“ワード”を考えて記載してください

KEY WORD：張り子 動物 巧緻動作 楽しい

<概要>

1：目的

脳卒中、頸椎症、末梢神経障害等により、手指の巧緻性の低下が認められる方に対し、生活の中でスムーズに物品操作を行えるようにするために、張り子で好きな動物を作るという活動を通し、楽しみながら巧緻動作訓練を行って頂くことを目的とした。

2：効果

和紙を千切る・貼るといった動作を繰り返すことにより、手指の巧緻性向上の効果が期待できる。また、完成していく過程が分かりやすく、達成感、満足感が得られやすい。

3：適応と禁忌

千切る・貼るといった動作が可能の方。道具の管理が安全に行える方。竹串を使用する際、手を刺してしまう危険性がある。

<内容説明>

1：使用材料

① 風船 (10cm 前後) ②和紙 (白い障子紙と色付きの和紙) ③水のり ④のりを溶かすときに使用する容器 (牛乳パックなど) ⑤のりを塗る筆 ⑥竹串

①～③、⑤、⑥は、100 円ショップで購入。

2：製作手順

作りたい大きさに合わせて風船を膨らませる。のりを容器に入れ水に溶かす。白い障子紙を千切り、のりで貼っていく。(その時、風船の口の部分だけ残しておく) 次に色付きの和紙を千切り、隙間がないように貼っていく。3枚以上重ねて貼ると丈夫になる。水分がなくなるまで、よく乾かす。風船の口を持って、竹串で穴をあける。しぼんだ風船を口から取り出す。穴に鼻をつけて塞ぐ。最後に目、耳、しっぽをつけたら完成。

3：外形寸法

20 cm × 15 cm × 15 cm

4：材料費用

材料全て ¥100 - 合計 ¥648 -

5：使用方法

完成した作品は、安定した棚などに置いて飾る。数人のグループで、それぞれ好きな動物を作成し、並べて飾っても楽しい。

6：工夫点・その他

今回使用した材料は全て 100 円ショップ

numata 14/9/24 8:36

コメント [1]: 「○○のために○○できる・することを目的とした」というように端的に作成した目的を説明してください。

numata 14/9/24 8:37

コメント [5]: 作製順序を追って具体的にかつ端的に記入ください

numata 14/9/24 8:38

コメント [2]: 作成によって対象者にどんな効果がもたらされるのか、もしくはどんなメリットが予測できるかなど記入ください。

numata 14/9/24 8:39

コメント [3]: 「適応」は使用に適している障害や特性をあげていただき、「禁忌」は予測される不利益や使用に不適応な場面や状態をあげてください。

numata 14/9/21 23:27

コメント [6]: 廃材等を使用した場合は「廃材のため無料」と記載してよいです。

numata 14/9/24 8:46

コメント [7]: 具体的な使用方法を記入ください。別紙の写真掲載の部分でも説明していただけるとよりわかりやすいです。

numata 14/9/24 8:47

コメント [4]: 略語は使用せず商品・製品名をあげてください。

numata 14/10/3 9:27

コメント [8]: 作製時や使用時での工夫点やアピール点を記載してください。

で購入できるものであり、手軽に楽しめる。
また、色々な動物を作るなど応用ができる。